

は し が き

国立教育政策研究所では、所の研究成果を教育現場をはじめとして広く普及し、教育指導法の改善や教員の資質向上などに役立てていただくという趣旨により、平成2年度より教育研究公開シンポジウムを開催している。

今回の第27回教育研究公開シンポジウムは、「学士課程教育の構成と体系化」というテーマにより、東京で開催した。高等教育に関するテーマをこのシンポジウムで取り上げるのは、今回が初の試みである。

学士課程教育の在り方については、中央教育審議会において審議が重ねられ、平成20年12月に「学士課程教育の構築に向けて」（答申）がとりまとめられた。

また、国立教育政策研究所においては、初年次教育の実施状況を把握し、その成果や課題を明らかにするため、平成19年12月に全国公私立大学を対象とした「大学における初年次教育に関する調査」を実施したところである。

このような中、本シンポジウムは、大学の教育力について我々はどうのような知見に拠ることができるのか、さらに、学士課程教育のプロセスにおいてはどのような課題と展望を提示できるのかといった点を通して、学士課程教育の全体像を考えることを目的として実施され、当日は大学関係者を中心とする約600名の参加者のもと、熱心な報告・討論が行われた。

本報告書は、このシンポジウムにおける報告及び討論の内容をまとめたものである。各大学における学士課程教育の改善・充実に向けた参考となれば幸いである。

平成21年3月

国立教育政策研究所長
近藤 信 司

目次

はしがき

【主催者挨拶】	7
近藤 信司 (国立教育政策研究所長)	
【第一部・基調報告】	11
久保 公人 (文部科学省 大臣官房審議官／高等教育局担当)	
【第二部・特別講演】	17
「大学の教育力～変革の可能性～」	
金子 元久 (東京大学大学院 教育学研究科長)	
【第三部・パネルディスカッション】	41
「学士課程教育をどう具体化するか」	
報告1 「初年次教育の広がり」と学士課程教育」	
川島 啓二 (国立教育政策研究所 高等教育研究部総括研究官)	
報告2 「カリキュラム改革と学習目標の明示～ICUの事例から～」	
日比谷 潤子 (国際基督教大学 学務副学長)	
報告3 「学士課程における学習成果のアセスメント」	
川嶋 太津夫 (神戸大学 大学教育推進機構教授)	
【パネルディスカッション】	73
コーディネーター 塚原 修一 (国立教育政策研究所 高等教育研究部長)	
パネリスト 金子 元久、川島 啓二、日比谷 潤子、川嶋 太津夫	

第27回

【教育研究公開シンポジウム】

学士課程教育の 構成と体系化